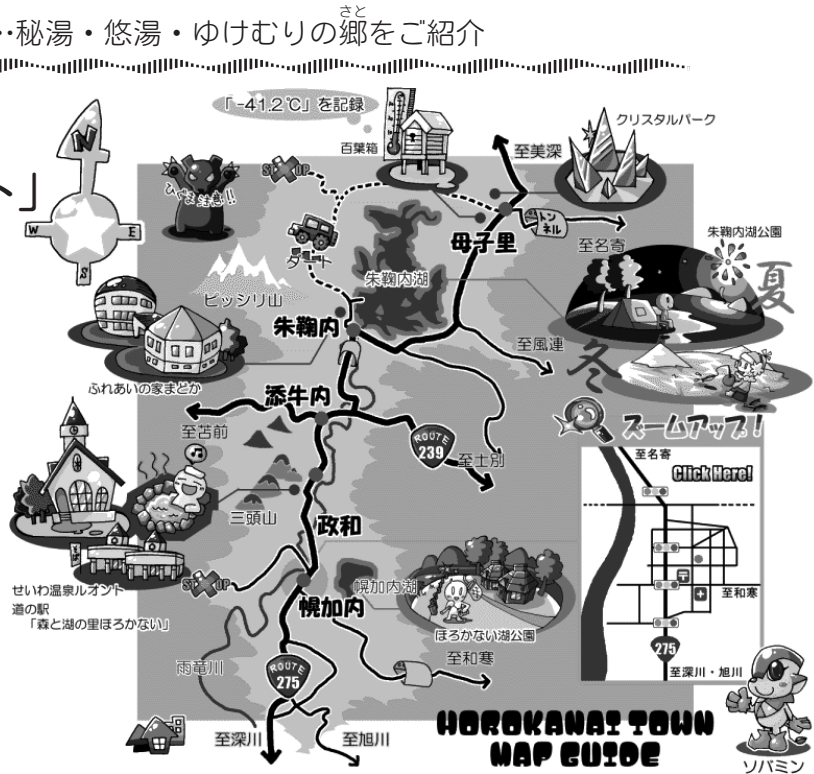


New Series 温泉めぐり…秘湯・悠湯・ゆけむりの郷をご紹介

幌加内町
「せいわ温泉ルオント」

温泉紹介の前に「幌加内町」の紹介をしたい。幌加内はアイヌ語で、「逆流する川」という意味で、昔の幌加内川が、茫々たる草原とうっそうとした密林で幌加内原野に長蛇のように曲がりくねっていたところから、アイヌの人には川の流れていくように見えたためと言われている。町の面積は767.03平方kmと北から南まで縦に非常に長い地域で、この縦に長い面積の中で、各地区大きく分けて、現在6地区(母子里、朱鞠内、添牛内、政和、幌加内、沼牛)がある。この幌加内町の中をJR深名線が1995年(平成7年)9月に廃線されるまで、深川から朱鞠内を経由し名寄までの121kmを運行されていた。現在でも旧深名線の第3雨竜川橋梁などが国道275号線沿いに、景観として残っている。

少々前置きが長くなったが、温泉紹介とまいりたい。幌加内の中心部から北に10km程の政和地区



幌加内町役場 HP より

にある日本最寒の地の温泉「せいわ温泉ルオント」の話といきたい。天塩山脈の麓、そばの里政和に沸き出す「三頭の湯」は人々のふれあいを生むくつろぎの場のキャッチフレーズで、1994年にできた新しい公営温泉である。広く明るいロビーはホテルのような雰囲気、靴ロッカーに預けたあと暖簾をくぐり浴室へ向かう。浴室には大風呂、泡風呂、サウナ、水風呂がある。外に露天風呂がある。温泉のお湯は茶系までいかない黄色で、入るとさざりとしている。泉質はナトリウム塩化物温泉(食塩泉)(中性等張性冷鉱泉)で、浴用では神経痛、筋肉痛、健康増進、慢性婦人病、冷え性、痔疾慢



性皮膚病に効果を顕す。外にある露天風呂(露天は茶色)は岩風呂だ。露天風呂からは白樺林を背景にした日本庭園が見え、おおざっぱで繊細さに欠ける点はあるが面白い趣向だ。建物の外観は時計塔があって、メルヘンに出てきそうな雰囲気だ。ルオントとはフィンランド語の「自然」という意味で、車椅子スロープや車椅子トイレがあってバリアフリーにも対応している。

おすすめは、「政和三頭山」さん(右上写真)の「ほろみのり」と「北早稲」の十割そばを嗜んでから、ルオントの温泉でまったりするのが一番です。

(編集子)

おさらい

- ・所在地：雨竜郡幌加内町字政和第一
TEL：01653-7-2070
FAX：01653-7-2072
- ・料金：日帰り入浴大人500円
- ・営業時間：10：00-21：00
- ・休館日：第2・4水曜日
- ・交通：道央自動車道の深川ICを降りて国道233号線を西へ。北竜町で右折して、国道275号線を北上する。幌加内中心部を過ぎ10kmほどのところ。深川ICから70km程度。駐車場は広い。



吹抜のロビー



露天風呂



政和三頭山

[TEL]0165-37-2464 080-5596-9266、営業期間
5～10月の8：00～15：00、定休日 不定

幌加内産原料の石臼挽き粉を使用したそば十割製麺。石臼挽き粉のみ(生粉打ち)打ち粉なし十割生そば製麺。生そば一人前350円(お持ち帰り可)特製のつゆにつるとした喉越しのもりそばは絶品。そばの風味が口に残るそば湯。季節によっては地元の山菜を新鮮なうちに食べられる。売切れの場合はすぐ追い打ちしてくれる。

- ・源泉名：三頭の湯
- ・泉質：ナトリウム-塩化物泉
(中性等張冷鉱泉 旧泉質名：食塩泉)
- ・適応症：神経痛 筋肉痛 関節痛 五十肩 運動麻痺 関節のこわばり うちみ くじき 痔疾 慢性消化器病 慢性皮膚病 病後回復期 疲労回復 健康増進 虚弱児童 慢性婦人病 冷え症 きりきず やけど
- ・禁忌症：急性疾患(特に熱のある場合)、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、活動性結核、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)